

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2372 号

Effectiveness of Interdisciplinary Team Conference to Manage Skeletal Events in Rehabilitation for Patients with Cancer

(がん患者リハビリテーションにおける skeletal related events カンファレンスの有用性について)

林 康子 (はやし やすこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、がん患者リハビリテーションにおいて、多職種チームで学際的に検討する SRE(skeletal related events)カンファレンスを導入し、その有用性について後方視的に調査したものである。従来、リハビリテーションは慢性期の脳卒中患者が主体であったが、担癌患者の増加に伴い、特に骨転移を有する症例に対してリハビリテーション介入の依頼が上昇したことが背景にある。

本研究では、SRE カンファレンスを導入する以前と以後で、がん患者リハビリテーションの成果を、比較・検討された。リハビリテーション介入中の病的骨折はなく、不全麻痺が問題となる症例においても目標達成率は半数を超えている。また、脊椎転移に対して放射線療法を施行され、ベッド上安静となっていた患者も、放射線療法終了後 4.4 日で抗重力姿勢をとるに至った。これは SRE カンファレンス導入以前と比較して、約 2 週間の改善であった。自宅退院の割合も、約 86%と高値を示した。

以上のように、本論文は、骨転移のあるがん患者に対して多職種による学際的な SRE カンファレンスを実施することで、リスクを低下させ、より活動的な結果や ADL の自立を達成する上で有用であることを示した、臨床的に有意義な結果を示したものである。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。